



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済：予算・金融関連（4月4日～13日）

1. 大統領の発言（4日付シャーナー通信）

アフマディーネジャード大統領は、3月28日に行われたノウルーズ（ヒジュラ太陽暦新年）後初となる閣議の後、石油収入への依存度を大幅に減少させると述べた。予算を削減する一方で、他の産業を強化し、税収を増加させると強調した。

2. 本年度予算審議（9日付シャルグ紙）

4月8日、国会の調整委員会で、第二回となるヒジュラ太陽暦1392年（2013年3月21日～2014年3月20日）予算審議が行われた。国会議員らからの失業率・インフレ・経済成長率についての問いに対し、中央銀行総裁および経済財務大臣が回答を避けたため、一時騒然となった。複数の国会議員らは、政府からこれらのデータが提出されない限り、1392年予算の審議を一時停止するとしている。

3. 本年度予算の為替レートと成立時期（8日付ファールス通信）

国会予算・計画委員会のアブドラーザーデ委員は、本年度[ヒジュラ太陽暦1392年（2013年3月21日～2014年3月20日）]予算の為替レートは、1米ドル=24,500リヤールになるだろうと述べた。また、本年度予算成立の時期については、国会の調整委員会、および国会での調査・審議を含め、少なくとも40～45日程度かかる見込みであると加えた。

4. リヤール安の進行（9日イラン・ニュース紙）

4月8日の外国為替市場は、先日、アルマトウイで行われたP5+1との核協議で合意事項が無かったことから、6日と比較してリヤール安が進行した。1米ドル=3万6,500リヤール（1,500リヤール安）、1ユーロ=4万7,400リヤール（1,050リヤール安）、1英ポンド=5万5,700リヤール（2,500リヤール安）となっている。

5. 経済成長率の低下（9日付イラン・ニュース紙）

メスバーヒー・モガッダム国会予算・計画委員長は、「残念ながら、イランの経済成長率はゼロまたはマイナスになったと言わざるを得ない」と述べた。また同委員長は、政府が国家開発基金（NDF）の45%を引き出す決定を行ったことは、非常に危険であると警告した。

## 6. 本年度予算案の否決（11日付シャルグ紙）

政府が提出しているヒジュラ太陽暦1392年（2013年3月21日～2014年3月20日）予算案が、国会調整委員会で否決された。本委員会では参加者の過半数を確保しなければならないが、全参加者55名のうち、参加した44名による投票が行われ、賛成22票、反対22票で、過半数超えを達成できず、政府は予算案の修正を行う必要に迫られている。現在3カ月の暫定予算が承認されているが、その期限となる6月21日までに、本予算案の修正案が承認されなければ、再度、1～数カ月分の暫定予算の承認を行わなければならなくなる。

## 7. 公定レート of 廃止（11日付シャルグ紙）

イラン商工鉱業会議所メンバーのダーネシュマンド氏によれば、政府は、3月5日より、公定レート（1米ドル＝1万2,260リヤール）の配賦を停止した。全ての輸入品が非参照レート（1米ドル＝2万5,000リヤール）に切り替わっていると、同人は述べた。また厚生大臣は、4月9日に、医薬品に関しても非参照レートに切り替わったことを明らかにした。

## 8. 大統領の発言（13日付イーラーン紙）

アフマディーネジャード大統領は、訪問先のセムナーン州で、「補助金合理化計画が完了した暁には、全国民に対し、250万リヤールを支給することが出来る」と述べた。また大統領は、現在、制裁により多くの問題を抱えていると述べたが、人々は、問題の多くは補助金合理化に起因すると考えている。

---

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799